

3. 海の安全啓発ツールの改善

観光客等へ水難事故情報及び未然防止策、安全啓発を効果的に行うため、海の安全啓発ツール「おきなわマリンセーフティ（ポータル及びマップ）」の情報更新と機能拡充を行った。

(1) 「おきなわマリンセーフティポータル」の改善

水難事故データの分析、水難事故パターンの検証結果を踏まえたコンテンツの拡充を検討する。

具体的には、①ヘッダーを中心として回遊性を向上させるようなデザインの改善、②主要な水難事故パターンをわかりやすく理解できるコンテンツ作成（イラストや漫画、動画等の活用等）等を行い、ポータルサイトに掲載するとともに、ターゲットを絞った情報発信に活用した。

ア. デザインの改善

ヘッダー上部にコンテンツを盛り込みサイトの離脱率を下げ回遊性の向上につなげる。旅のシーンやビジュアル提示を行うことで「自分ごと」として捉えてもらえるよう改善した。



図 60 デザインの改善

イ. クイズ特設サイトの作成

【自分には関係ない】【自分のことではない】と思われがちなマリンレジャーの安全・安心に関わる情報内容に关心をもってもらい、確認してもらい、理解してもらうための仕掛けと工夫を検討・実施した。

▼キャンペーンカード（イメージ）

クイズやアンケートに答えて
沖縄の海を安全に楽しもう！

3,000円相当の
沖縄特産品が100名様にあたる!!

QR

QRよりクイズ（右）に遷移

▼クイズ内容（案）

Q1：令和4年中の沖縄における水難事故の死者・行方不明者は交通事故の死者数より多い？少ない？	A1：水難事故。交通の死者数は34人、水難事故の死者・行方不明者は42名。運転も海遊びも気を付けましょう。
Q2：沖縄のすべての海岸、ビーチには監視員がいる？いない？	A2：すべてのビーチに監視員はいません。安全に遊泳したい方は指定海水浴場へ
Q3：県外観光客のうち、最も水難事故の割合が高いアクティビティは何？	A3：スノーケル。かんたんに始められて、一見安全に見えますが、実は知識と技術が必要です。
Q4：県外客のうち水難事故罹災率の高い世代はどれ？	A4：50代。特に年配の方は体調不良が原因となる方もいます。
Q5：沖縄県警察から認められた安全基準を満たしたマリンレジャー事業者の通称は何？	A5：マル優事業者。その他、マリンレジャーごとに資格があります。

全問正解すると応募ページへ遷移

図 61 クイズ特設サイトのイメージ

以下にクイズ特設サイトの実施結果を示す。

1. キャンペーン 実施概要

実施概要

■キャンペーン名
【沖縄県公式】おきなわ海の事故ゼロキャンペーン クイズに答えて沖縄の海を安全に楽しもう

■目的
沖縄の海を安全に楽しむための理解を深めていただくことを目的とする。「自分には関係ない」「自分のことではない」と思われるがちなマリンレジャーの安全・安心に関する情報に关心を持ち、確認・理解してもらうため、クイズ形式で周知を行う。

■対象者
沖縄県を訪問された皆さま

■実施方法
①QRコード付きのアンケートカードをホテル、レンタカー営業所への設置
②那覇空港における海の安全に係る周知広報イベント等での配布
③「Okinawa Marine Safety」（ポータル、マップ、LINE）等にポップアップを表示し特設ページに誘導
※抽選で100名に3,000円相当の「沖縄県特産品」をプレゼントする

■実施期間
2024年5月15日（水）～2025年3月31日（月）

【配布数・回答数】
カード配布数：112,250枚
レンタカー営業所 27,100枚、ホテル 78,800枚、那覇BT観光案内所 1,000枚、泊ふ頭旅客ターミナルとまりん3,000 他
回答数：8,102票 ※2025年3月11日時点

■その他
アンケートカードおよびアンケートフォームは日本語、英語の2言語にて作成

ポップアップ

アンケートカード

1. キャンペーン 実施概要

実施概要

■回答数

8,102件 (アクセス数 : 23,119件)

■居住地

「東京都」が最も多く14.0%、次いで「沖縄県」11.0%、「神奈川県」8.8%、「大阪府」7.5%

■性別

「女性」が62.3%、「男性」が37.2%

■年齢

「40代」が最も多く27.1%、次いで「50代」が26.9%、「60代」が17.8% →重症化しやすいシニア層が多く回答

■沖縄への来訪回数（県外のみ）

「5～9回目」が最も多く21.3%、「今回がはじめて」が16.5%、「20回以上」が15.4%

■今年の沖縄旅行の検討状況

「今年中の沖縄旅行は決まってないが迷っている状況」が最も多く29.8%、

次いで、「今年中に沖縄旅行が決まっており行程を考えている状況」が19.3%

■クイズを知った媒体

SNS広告を実施している「Instagram」が49.6%、「Facebook」が21.7%

次いでネット広告を実施している「インターネット」が8.3% →SNS広告の効果が高いと考えられる

2. 回答状況

回答について

■問題の正答状況

問題1：自然海岸の事故発生割合は正答率90.2%

問題2：スマホの防水パックについて正答率97.0%

問題3：リーフカレン特の対応方法は正答率99.0%

問題4：海上保安庁の番号1~8番の正答率は80.6%

問題5-1（県外用）：県外客の水難事故の発生割合（スノーケリング）の正答率62.8%

問題5-2（県内用）：県内客の水難事故の発生割合（釣り）の正答率は26.5%

問題6（50歳以上）：死亡者数のうち50歳以上が占める割合の正答率は76.8%

■クイズのまなび

・クイズについて「とても学びがあった」「まなびがあった」と回答した割合は95.9%

■自由意見

(感想)

・自分は50歳以上だが死者の割合がここまで高いとは思わなかった。気を付けたいと思う。

・シュノーケルの事故が多いとは知らなかった。

・海あそびに行く前に子どもと一緒に考えながら回答した。楽しく安全について学ぶことができた。

・これから沖縄で海遊びをするところだった。万が一に備えてライフジャケット、スマホの防水パックを準備したい。

・SNSでふと目にとまって回答したが、とても引き込まれた。改めて注意したい。

・行政として実施していることが素晴らしい。SNSのアプローチもよい。

・こういった情報が欲しかった。

(沖縄におけるマリンレジャーへの要望)

・どこで安全にシュノーケルできるか知りたい。

・50歳以上でマリン愛好家だが、事故が多いことは知っている。断る業者も増えてきた。

・シニアでも安全に楽しめるようにしてほしい。

・沖縄の業者のなかにはサービスが十分ではないところもある。管理してほしい。

(クイズへの要望)

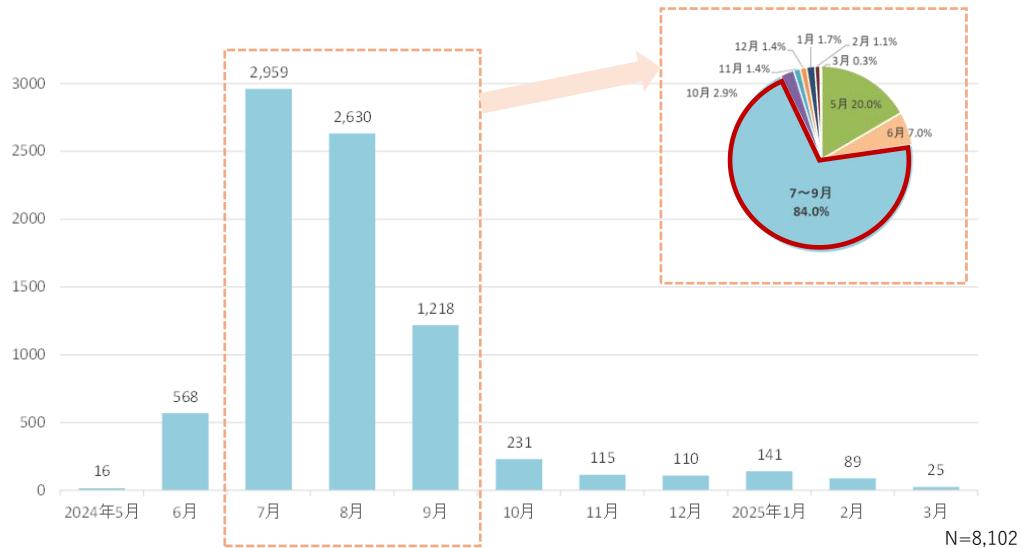
・キケン生物についてもっと知りたいと思った。

・クイズで考えるのはとても楽しかった。もっと難しい問題や、専門的な内容も作ってほしい。

2. 回答状況

月別回答数

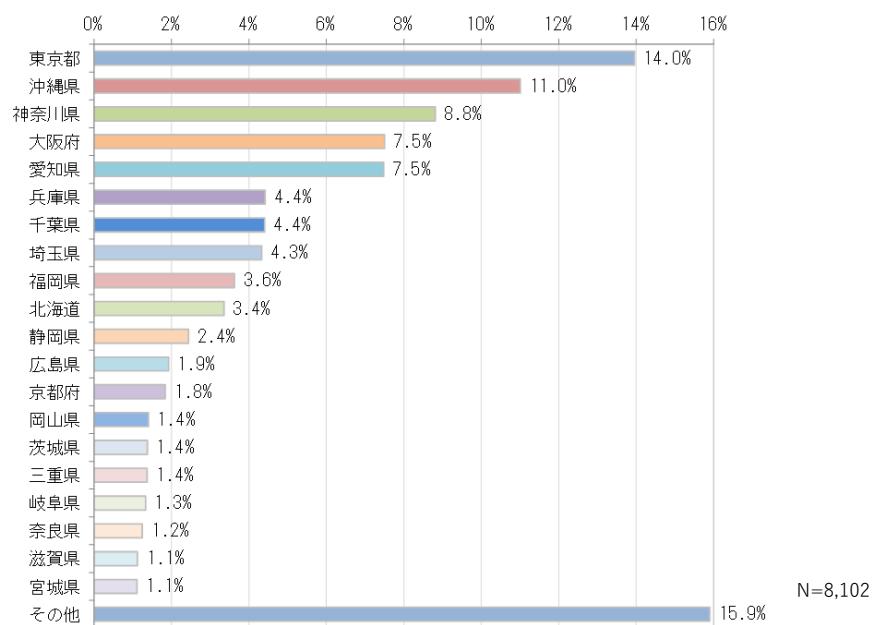
- 回答数は、7月が最も多く2,959、次いで6月が2,630であった。
- 7~9月の3か月で6,807（全体の84.0%）であった。



3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

あなたの居住地を教えてください

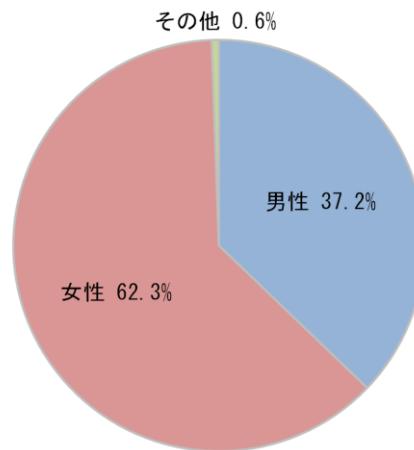
- 「東京都」が最も多く14.0%、次いで「沖縄県」が11.0%、「神奈川県」が8.8%であった。



3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

.あなたの性別を教えてください

- ・「女性」は62.3%、「男性」は37.2%であった。

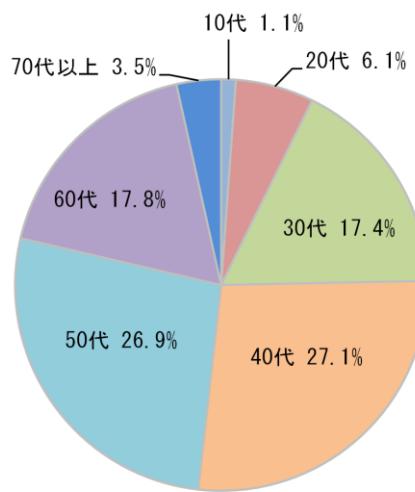


N=8,102

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

.あなたの年齢を教えてください

- ・「40代」が最も多く27.1%、「50代」が26.9%、「60代」が17.8%であった。
- ・重症化しやすい40代以上のシニア層が多い。



N=8,102

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

沖縄を訪れるのは何回目ですか。

※対象：沖縄県外の方

- 「5~9回」が最も多く21.3%、次いで「今回が初めて」が16.5%、「20回以上」が15.4%であった。



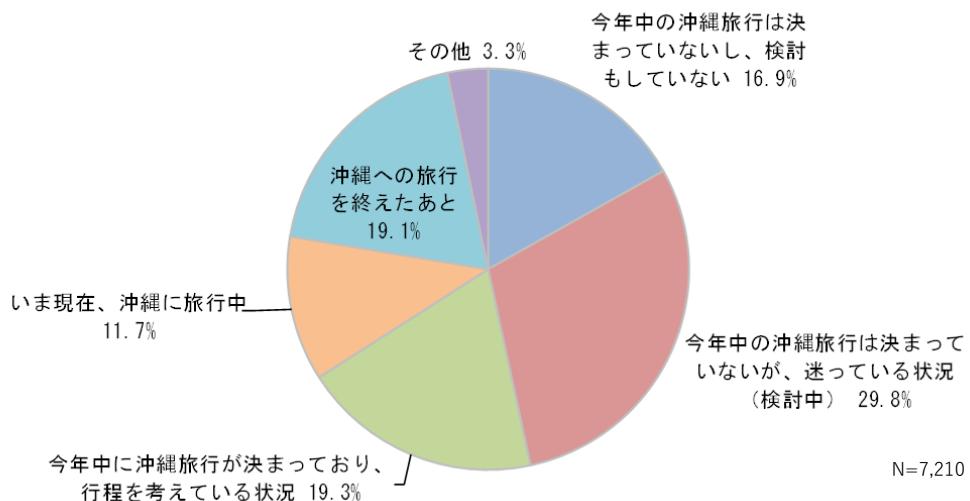
N=7,210

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

今年の沖縄旅行の検討状況を教えてください

※対象：沖縄県外の方

- 「今年中の沖縄旅行は決まっていないが、迷っている状況（検討中）」が最も多く29.8%、次いで「今年中に沖縄旅行が決まっており、行程を考えている状況」が19.3%、「沖縄への旅行を終えたあと」が19.1%であった。



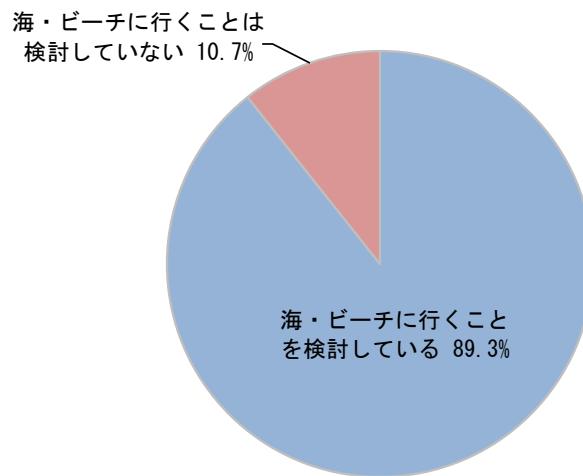
N=7,210

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

沖縄旅行にて、海・ビーチに行くことは検討していますか？

※対象：現在、沖縄旅行を迷っている（検討中）の方

- ・「海・ビーチに行くことを検討している」が89.3%、「海・ビーチに行くことは検討していない」が10.7%であった。



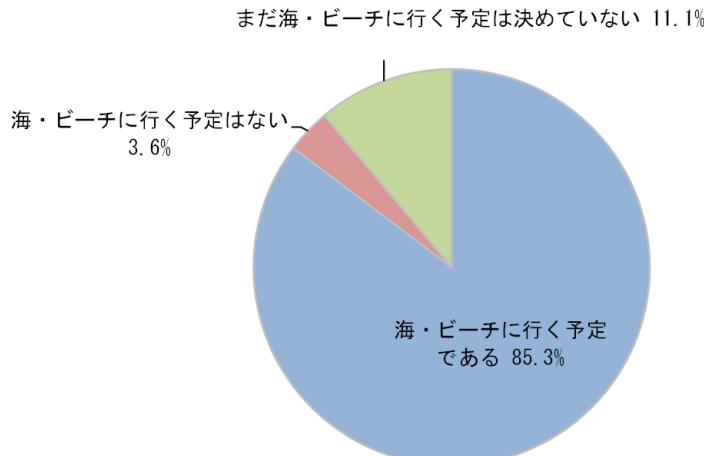
N=2,145

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

今回の沖縄旅行にて、海・ビーチに行くことは決まっていますか？

※対象：現在、沖縄旅行を計画中の方

- ・「海・ビーチに行く予定である」が最も多く85.3%、次いで「まだ海・ビーチに行く予定は決めていない」が11.1%、「海・ビーチに行く予定はない」が3.6%であった。



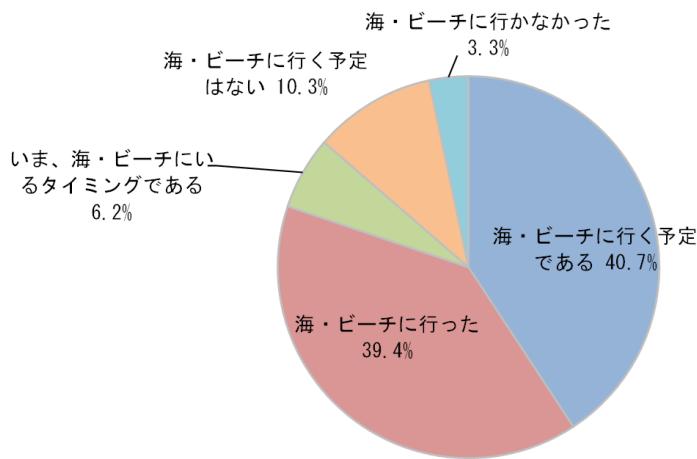
N=1,393

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

今回の沖縄旅行にて、海・ビーチに行く予定ですか？もしくは予定はありますか？

※対象：現在、沖縄旅行中の方

- ・「海・ビーチに行く予定である」が最も多く40.7%、次いで「海・ビーチに行った」が39.4%、「海・ビーチに行く予定はない」が10.3%であった。

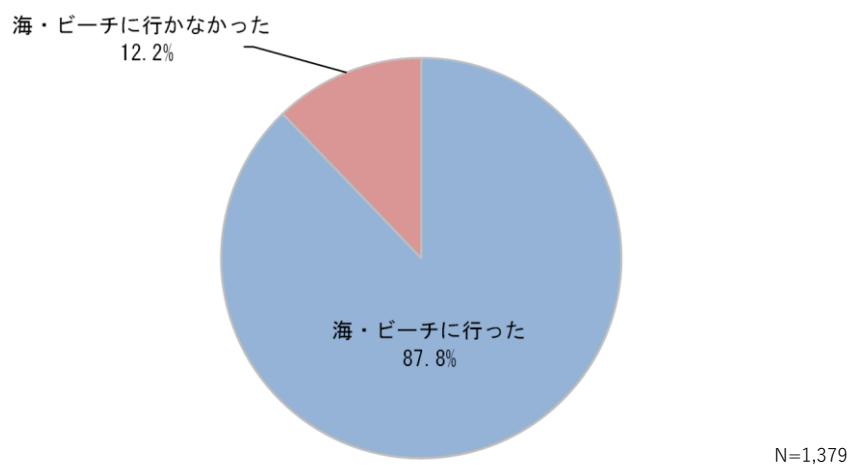


3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

今回の沖縄旅行にて、海・ビーチに行きましたか？

※対象：沖縄旅行を終えた方

- ・「海・ビーチに行った」が87.8%、「海・ビーチに行かなかった」が12.2%であった。

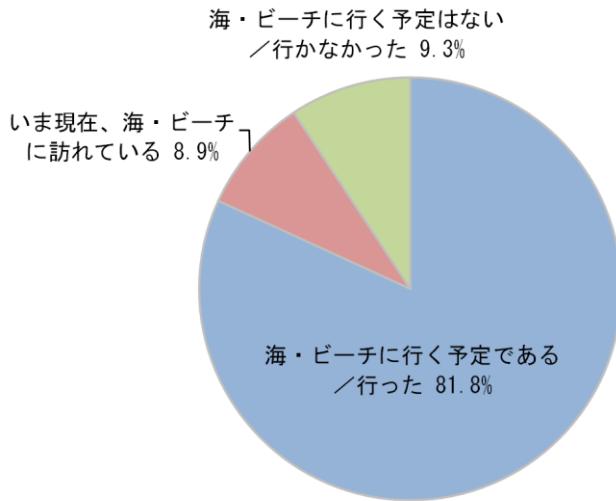


3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

今年は海・ビーチに行く予定はありますか？今年、海・ビーチに行きましたか？

※対象：沖縄県内の方

- ・「海・ビーチに行った」が87.8%、「海・ビーチに行かなかった」が12.2%であった。

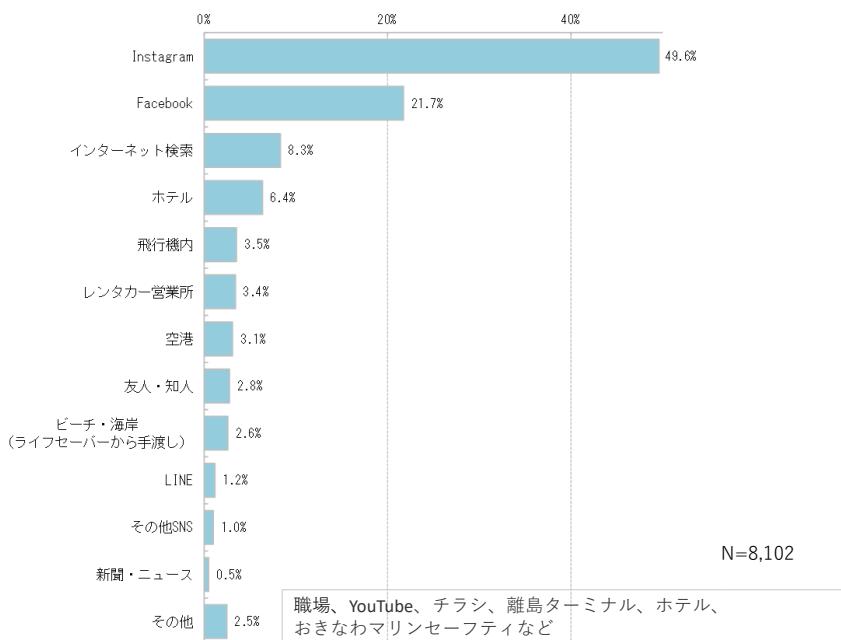


N=892

3. 回答者ご自身と、今回の沖縄訪問について

このクイズを知った媒体もしくは場所を教えてください。（いくつでも）

- ・「Instagram」が最も多く49.6%、次いで「Facebook」が21.7%、「インターネット検索」が8.3%であった。



N=8,102

4. 問題への回答と学び

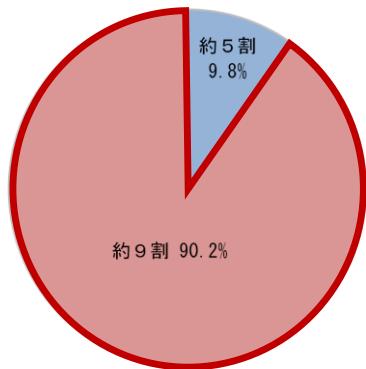
もんだい1

沖縄の海で発生する遊泳中（スノーケリング含む）の事故のうち、監視員のいない「自然海岸」と呼ばれる管理されていない海岸・ビーチで発生する割合は何割でしょうか。

※監視員がいて安心に遊泳できるエリアは「海水浴場」として指定されています。（出典：海上保安庁第十一管区、令和4年度中）

- 正解「約9割」を選択した方は、90.2%であった。

※□赤枠が正解



N=8,102

こたえは「約9割」です。

沖縄の遊泳やスノーケリングの海での事故のうち、約9割が監視員のいない自然海岸にて発生しています。

遊泳中に沖合に流されたと疑われるケースが多く、自然海岸での遊泳は大変危険です。

海での遊泳を楽しみたい方は監視員やライフセーバーのいる海水浴場にいきましょう。

海水浴場ではその他、クラゲネットなどが設置されており安全に遊泳を楽しむことができます。

また、今年、事故の多発する自然海岸では、ライフセーバーが巡回し、海を安全に楽しんでいただくために声掛けを行っています。声をかけられた際には、ご協力をお願いします。



4. 問題への回答と学び

もんだい2

自然海岸において、海の事故から命を守るために「ライフジャケットの常時着用」は非常に重要です。
加えて、もうひとつ重要なポイントがあります。以下のうち最も重要なものはどれでしょうか。

- 正解「スマホを防水パックにいれるなどして携行する」を選択した方は97.0%であった。

※□赤枠が正解



N=8,102

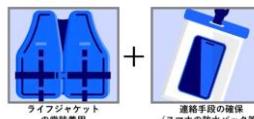
自然海岸では自身の命を守るために「ライフジャケットの常時着用」に加えて、「適切な連絡手段を確保」することが基本です。

そのためには耐水タイプまたは防水パックに入れた携帯電話を携行することが重要です。自分の位置を正確に知らせるためにスマートフォンの位置情報をONにしておくことも有効です。

加えて、ライフジャケットの着用は生死を分ける要素となります。いざというときに脱げたり浮力が確保できなかったとならないように正しい着用方法や点検を行いましょう。

※自然海岸では、どのレジャーでも単独での行動は大変危険です。ガイドの手配や2人1組（バディシステム）を組むようにしましょう。

※自然海岸では、足元ではオコゼの踏み抜き、クラゲなどの危険生物があります。マリンシューズやラッシュガード（マリン用ウェア）を着用しましょう。ラッシュガードは紫外線対策にも効果的です。



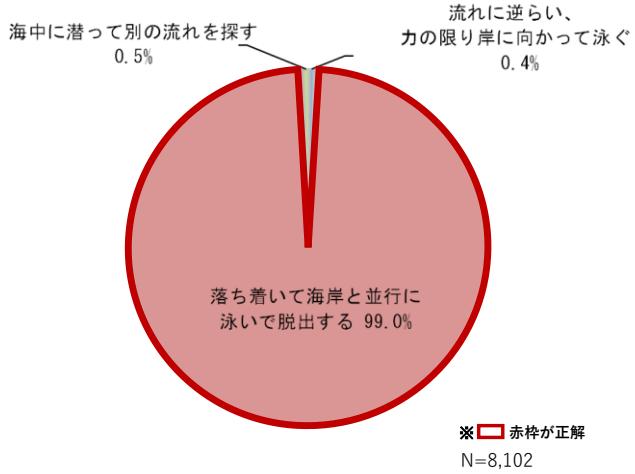
4. 問題への回答と学び

もんだい3

自然海岸では、「離岸流」や「リーフカレント」と呼ばれる沖に向かって発生する強い流れに巻き込まれる事故が多く見られます。離岸流によって、沖に流されていると感じた場合、まずどのように対応するのがよいでしょうか。

- 正解「落ち着いて海岸と並行に泳いで脱出する」を選択した方は99.0%であった。

※□赤枠が正解



離岸流はとても強い流れであるため、逆らって泳ぐことはしないようにしましょう。
潜ることも危険です。

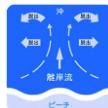
落ち着いて、並行に沿って泳ぐと離岸流の範囲は狭いため、流れから抜け出せます。

このとき、ライフジャケットを着用していることで浮力が確保されるのでより安全です。

沖向きの流れから抜け出せたら、岸に向かって泳ぐことで助かります。

そもそも離岸流には遭遇しないことが大切です。

離岸流が発生しやすい場所は、「白波が立っていない場所」なので、マリンレジャー・遊泳の際には避けるようにしましょう。



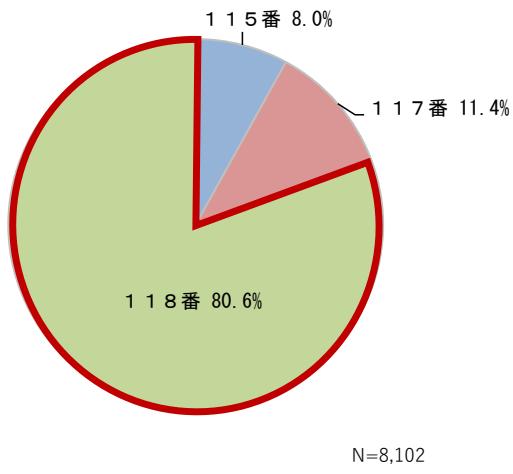
4. 問題への回答と学び

もんだい4

海での事故など「もしも」のときの緊急連絡先は3つあります。110番（警察）、119番（消防）、もうひとつは「海上保安庁」の番号ですが何番でしょうか？

- 正解「118番」を選択した方は80.6%であった。

※□赤枠が正解



海での緊急連絡先は118番（海上保安庁）、110番（警察）、119番（消防）です。

どちらに連絡しても事故の情報を共有しているのでつながるところにかけるようにしましょう。

また「NET118」は、聴覚や発話に障がいを持つ方を対象に、スマートフォンなどを使用した入力操作により、海上保安庁へ緊急時の通報が可能となるサービスです。

連絡の際には落ち着いて、「どのような事故か」「事故の場所」「事故者の人数」「通報者の名前と連絡先」を伝えましょう。

場所を正確に伝えるためにスマートフォンのGPSをONにしておきましょう。

※なお、115番は「電報受付」、117番は「時報」です。



4. 問題への回答と学び

もんだい5

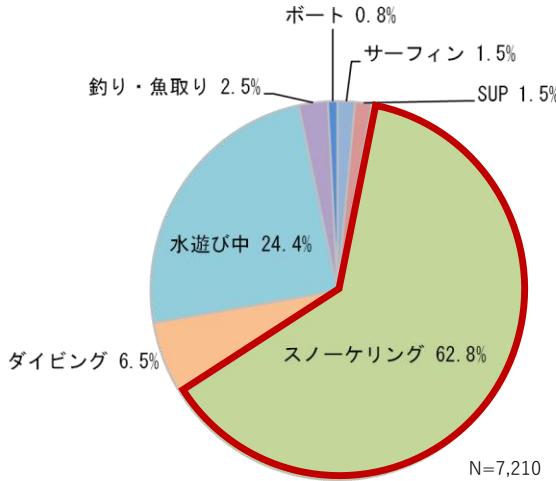
観光客（県外居住者）の水難事故件数のうち、発生割合が最も多いレジャーはどれ？

ヒント！一見、誰でも気軽に、かんたんに始めるこことできるレジャーです

※対象：沖縄県外の方

- ・正解「スノーケリング」を選択した方は62.8%であった。

※□赤枠が正解



正解はスノーケリングで、沖縄での県外客の水難事故のうち約4割を占めます。

スノーケリングは、手軽はじめられて一見安全そうですが、誤飲や離岸流に流されたりなど事故につながるケースが多くあります。

安全に楽しむためにも、スノーケル事業者を利用することをお勧めします。

また、4点セットであるマスク、フィン、スノーケル、そしてライフジャケットを必ず使用しましょう。正しい使い方もチェックしておきましょう。



4. 問題への回答と学び

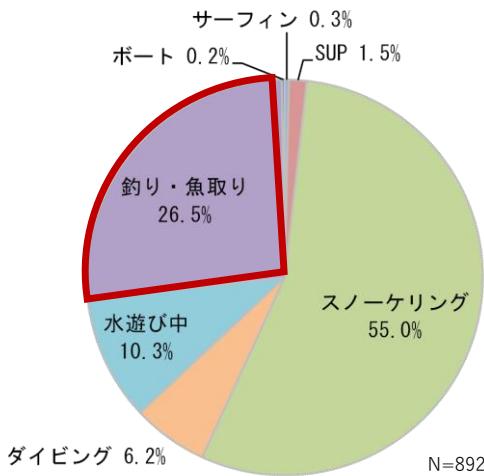
もんだい5

沖縄県民の水難事故件数のうち、発生割合が最も多いレジャーはどれ？

※対象：沖縄県内の方

- ・正解「釣り・魚取り」を選択した方は55.0%であった。

※□赤枠が正解



正解は「釣り・魚取り」で、県民の水難事故のうち約3割を占めます。

釣りや魚取りや貝取りの際には、必ずライフジャケットの着用と連絡手段の確保をしましょう。

また、危険なエリアへの立ち入りは控えるようにしましょう。

釣り中や魚取りの事故は「おきなわマリンセーフティマップ」や「海しる」（海上保安庁）で知ることができます。



4. 問題への回答と学び

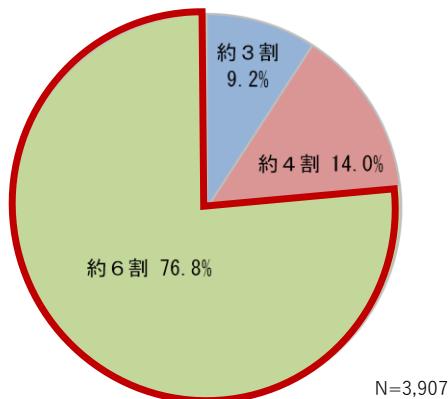
もんだい6

沖縄にて水難事故で亡くなってしまう人のうち、50歳以上の方は約何割でしょうか。

※対象：50代以上の方

- ・正解「約6割」を選択した方は76.8%であった。

※□ 赤枠が正解



沖縄にて水難事故で亡くなってしまう人のうち、**約6割が50歳以上**となります。

持病の悪化や突然の体調不良が原因となるケースも多く事前の健康チェックが重要です。

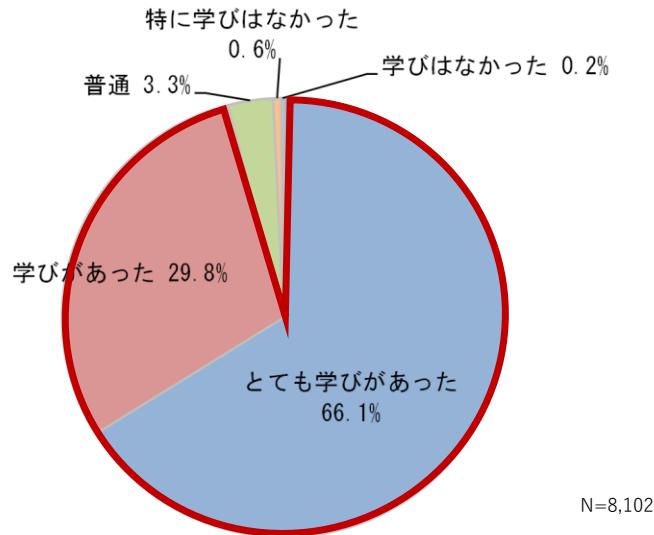
県外の方は、ダイビングなど特に体に負担がかかるレジャーについては、事前の健康診断をお勧めします。

県民の方は魚取りや貝取りのケースが多いので、油断せず体調を確認するとともにライフジャケットの着用や携帯の携行をしましょう。

4. もんだいへの回答と学び

今回のクイズで沖縄の海の安全に関する学びはありましたか？

- ・「とても学びがあった」が最も多く66.1%、次いで「学びがあった」が29.8%であった。
- ・「とても学びがあった」「学びがあった」で、全体の95.9%であった。



(2) 「おきなわマリンセーフティマップ」の改善

「おきなわマリンセーフティマップ」について、「ア 運用および情報更新」、「イ 多言語対応」、「ウ 天候等を踏まえたアラートの発信」、「エ その他マップ機能改善」を行った。

ア. 「おきなわマリンセーフティマップ」の運用及び情報更新

マリンセーフティマップのうち情報更新が必要な①ビーチの基本情報、②水難事故情報、③ビーチの危険情報について、適宜精査・メンテナンス・情報更新を行った。

②、③については年度内に更新した。

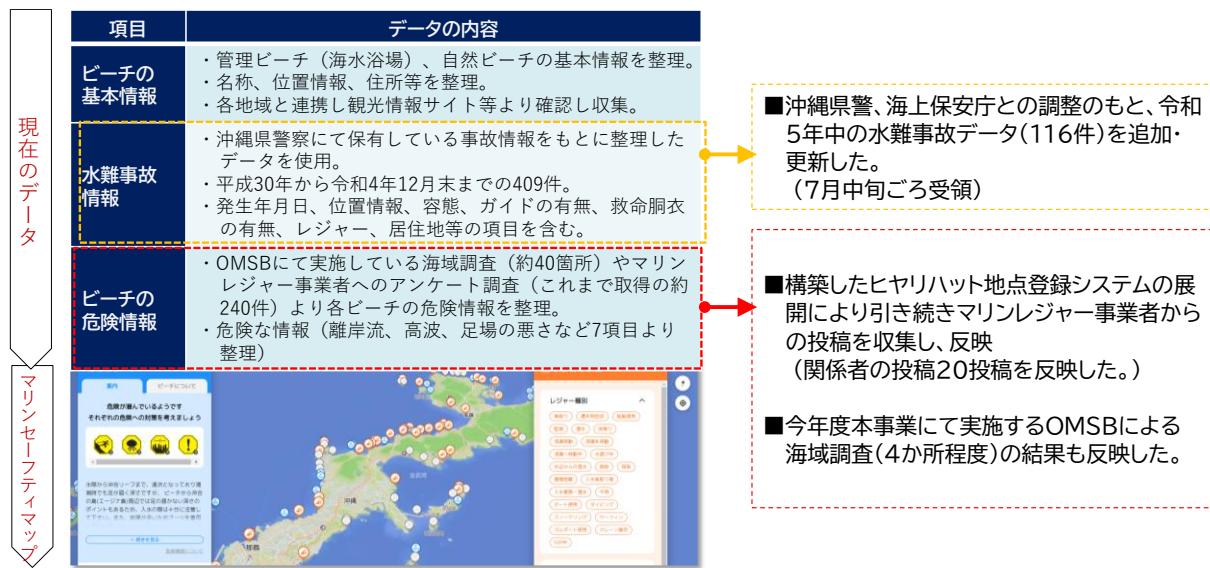


図 62 実施概念図

■令和5年（2023年）の水難事故（沖縄県警察提供）の反映結果を以下に示す。



図 63 令和4年度の水難事故の追加結果

■システムにおけるヒヤリハットの収集の様子を以下に示す。

The screenshot shows a table listing 293 entries of near-miss events. The columns include Name, Caution (represented by icons like a swimmer, a lightning bolt, and an exclamation mark), IsDisclosure, verified, user, Issue date, and Post date. The data includes various locations such as river mouths, roadsides, ports, and beaches, with dates ranging from 2020 to 2024.

Name	Caution	IsDisclosure	verified	user	Issue date	Post date
浦内川河口	⚡	✗	○	▲	2024/08/14 08:30	2024/11/21 16:48
海中道路ロードパーク	!	✗	○	▲	2024/11/14 13:04	2024/11/14 22:04
久米島町戸田泊(漁港)	⚡ !	✗	○	▲	2024/09/14 20:00	2024/11/11 18:14
米原ビーチ	⚡ ⚡	✗	○	▲	2024/11/11 06:35	2024/11/11 15:35
ラビリンス	⚡	✗	○	▲	2024/09/24 15:00	2024/11/08 15:21
test		✗	○	▲	2024/10/21 08:17	2024/10/21 15:17
test	⚡	✗	○	▲	2024/10/16 09:49	2024/10/16 18:49
喜瀬川河口	⚡ ⚡ !	✗	○	▲	2022/09/04 00:00	2024/01/31 13:28
名護市民ビーチ	⚡ !	✗	○	▲	2020/08/22 06:00	2024/01/31 13:17
幸喜ビーチ	!	✗	○	▲	2023/07/22 02:00	2024/01/31 13:12

図 64 システムによるヒヤリハット収集

■ ビーチの基本情報等の反映システムを以下に示す。

ビーチ情報の一部情報はビーチのオープンデータ情報サイト、OTTOPより取得した。

The screenshot shows a mobile application interface for managing beach information. At the top, there are two toggle switches: '安全レポート' (Safety Report) and '公開' (Public). Below this is a section titled '基本情報' (Basic Information) which includes language tabs: 日本語 (selected), English, Hans, Hant, and Ko. The Japanese text in this section describes the beach as '21世紀の森ビーチ' located in '沖縄県名護市宮里' (Nago City, Okinawa Prefecture) in the '沖縄本島北部' (Northern part of Okinawa Main Island). It is described as a '緑の美しい21世紀の森公園にある、名護市民の憩いのビーチ' (A green and beautiful beach located in a 21st-century forest park in Nago City, where citizens can relax). The text continues to describe the beach's features, mentioning white sand, calm waves, and a barbecue area. Below this is a '歴史' (History) section which is currently empty. At the bottom of the basic information section is a button labeled '市民ビーチ × 通称・別名' (Citizen Beach × Alias). The next section is '営業時間' (Business Hours), showing a table with four columns: mm-dd, mm-dd, h:m, and h:m. The first row has '+' and '-' buttons. The second row contains the values '04-09', '09-30', '10:00', and '18:30'. The final section is '参照元' (Reference Source), listing 'おきなわ物語' (Okinawa Story) and a URL 'https://www.okinawastory.jp/'. At the very bottom is a section titled '危険情報' (Dangerous Information).

図 65 ビーチ情報管理システム

イ. 多言語対応

「おきなわマリンセーフティマップ」(以下、「マップ」)については、令和6年度当初まではビーチの基本情報や危険情報については、先行して機械翻訳(Google翻訳)による英語にて対応を行っていた。なお、「おきなわマリンセーフティポータル」(以下、「ポータル」)についても英語対応済。

「水難事故情報」や「ヒヤリハット情報」については正確な情報提供が必要と判断し、未実施の状況であったが、関係者協力も見込めるため、機械翻訳にて実施した。

加えて、「マップ」、「ポータル」とともに、繁体字・簡体字・ハングルの翻訳(機械翻訳)を実施した。

→機械翻訳にて実施のため、固有名詞を多く含む「マップ」では誤翻訳が想定される。本件については、項目ごとに閲覧者による投稿機能を追加した。

(修正の有無については事務局にて確認のうえ判断)



図 66 実施結果 言語選択のボタン (右下)

ウ. 天候等を踏まえたアラートの発信

令和5年度事業では、天候（風速、波高、潮汐（潮の満ち引き））の現況をビーチごとに表示していた。

令和6年度事業では、関係者と協議のうえアラートを発信する基準を設定し、マリンセーフティマップにてビーチごとに表示することを検討した。海外ではニュージーランドの「SAFESWIM」がビーチごとにアラートを発信している。

実施結果として、テストサイトにて天候を踏まえたアラートを試験的に公開し、関係者にて閲覧可能な状況としている。

⇒ライフガードによる海浜の巡回講習にて試験的に運用している。

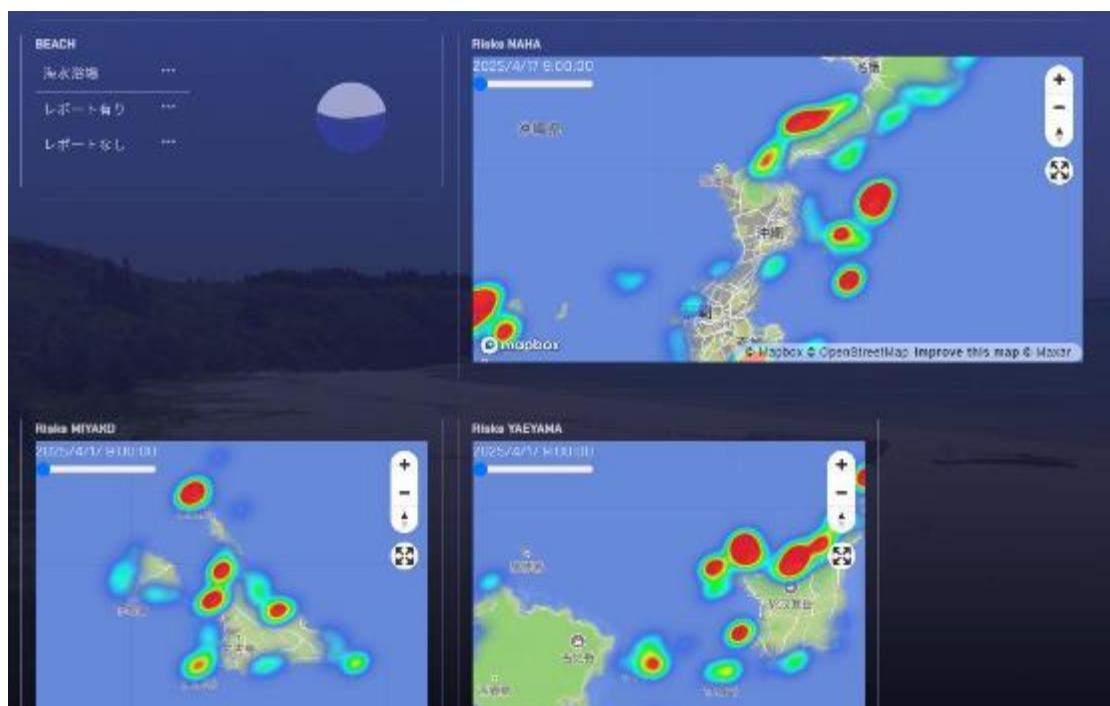


図 67 天候踏まえたリスク可視化ツール

17ENDビーチ									
Time	Updated At	Score	Wind Speed Level	Wind Direction Level	Wind Speed Surface	Wind Direction Surface	Wave Height Level	Wave Height	
2025-04-16 12:00	2025-04-16 15:35	45	3	1	7.31	144.49°	3	0.84	
2025-04-16 15:00	2025-04-16 15:35	9	3	1	7.22	154.28°	3	0.87	
2025-04-16 18:00	2025-04-16 15:35	9	3	1	7.19	154.78°	3	0.88	
2025-04-16 21:00	2025-04-16 15:35	47	3	1	7.05	154.95°	3	0.93	
2025-04-17 00:00	2025-04-17 08:08	27	3	1	9.42	180.09°	3	0.97	
2025-04-17 03:00	2025-04-17 08:16	9	3	1	7.18	175.57°	3	0.95	
2025-04-17 06:00	2025-04-17 08:16	9	3	1	8.98	183.96°	3	0.91	
2025-04-17 09:00	2025-04-17 08:16	45	3	1	9.60	133.67°	3	0.90	
2025-04-17 12:00	2025-04-17 08:16	45	3	1	9.56	149.06°	3	0.97	
2025-04-17 15:00	2025-04-17 08:16	45	3	5	9.80	134.91°	3	1.02	

図 68 ビーチごとの天候を踏まえたリスク評価

(3) レンタカー等を活用した危険情報のプッシュ機能の追加の検討

「犯罪多発地域です」「事故多発区間です」のようなイメージでマリンレジャーの安全情報として「海の事故多発エリアです」「海での事故が多発しています。安全対策を徹底しましょう」のような音声案内がナビ上での実施可否、可能な場合の必要となる提供データ（仕様）、実装までのスケジュール、掲載コスト等についてナビ会社、や地図会社と協議・調整を行った。

NAVI 事業者と面談を行った結果、予算や実施規模が少ないと見送ることとした。

一部ナビでは、目的地登録時や駐車する際に盗難のナビが音声や画面にて表示



ビーチ情報を登録のうえ、ビーチ周辺に駐車の際に音声案内の実施を試行



※関係者と協議・
調整のうえ条件
が合うようであ
ればデータ提供
等を試行

図 69 レンタカー等を活用した危険情報のプッシュ機能の検討イメージ